

# 大気浮遊じんの放射能濃度測定結果

問合せ 生活環境課 ☎24-5231

ちりやほこりに付着した放射性物質の飛散状況を調べるため、市内10地点で収集した大気1m<sup>3</sup>あたりの放射性物質の濃度を測定しました。

測定地点		放射能濃度 (mBq/m <sup>3</sup> )	
		11/28-12/5	12/5-12/12
小高区	川房公会堂 (川房)	セシウム134	不検出
		セシウム137	0.035
	金房小学校 (飯崎)	セシウム134	不検出
		セシウム137	0.019
	塚原公会堂 (塚原)	セシウム134	不検出
		セシウム137	0.018
原町区	横川ダム (馬場)	セシウム134	不検出
		セシウム137	0.025
	原町保健センター (小川町)	セシウム134	不検出
		セシウム137	0.018
	高平生涯学習センター (下高平)	セシウム134	不検出
		セシウム137	0.100
	市立総合病院 (高見町)	セシウム134	不検出
		セシウム137	0.049
	大原公会堂 (大原)	セシウム134	不検出
		セシウム137	0.045

測定地点		放射能濃度 (mBq/m <sup>3</sup> )	
		11/28-12/5	12/5-12/12
鹿島区	鹿島区役所 (西町)	セシウム134	不検出
		セシウム137	0.030
	鹿島区3-3消防屯所 (南海老)	セシウム134	不検出
		セシウム137	0.012

検出限界値はおおむね0.02~0.03mBq/m<sup>3</sup>の範囲にありますが、測定サンプル毎に変動します。そのため、データの記載がない日は、放射能濃度が検出限界値未満の値であり「放射能不検出」と判定されます。

渡邊正己京都大学名誉教授  
(市放射線健康対策委員会委員長)による解説

第99回目  
大気浮遊じん放射能測定結果の解説  
新年明けましておめでとうございます。平成30年11月28日~12月12日間の大気浮遊じん中の放射能濃度は、セシウム137が平均0.02mBq/m<sup>3</sup>(セシウム134は観測されず)と非常に少なく、飛散する放射能による健康影響を心配することはありません。  
今年も、年号も変わり、心機一転、力強い復興を実現したいものですが、そのために、福島に熱い支援を寄せておられるレディ・ガガ氏は「一人一人が優しくなることが社会全体を良い方向へ向かわせる」といっておられます。頑張りましょう。